

中国の手先『韓国』にご注意 !! 韓国が日本の島根県「竹島領海」で 海底資源調査。

韓国はここ7～8年ほど狂ったように反日攻撃を続けています。

これは韓国が中国のプロパガンダに乗ったためです。

中国に騙され都合よく利用されているのです。

国際関係を見回すと、韓国のようにかわいそうな国をよく見かけます。

韓国という国を作ってくれたのはアメリカです。

「朝鮮戦争」のときどって、「北朝鮮と中国義勇兵」と戦ってくれたのはアメリカの若者たちです。

武器弾薬をかなぐり捨てて敵前逃亡す

る情けない韓国軍。韓国軍の代わりに必死に戦ってくれたのはアメリカ軍の兵士です。

「朝鮮戦争」には「敗戦間もない日本軍」も参加していました。

アメリカ軍のGHQの強い希望で「日本海軍」の「掃海艇」が『機雷除去』をしていました。

ではなぜ、日本が「機雷除去」を求められたのか。

実は「太平洋戦争（大東亜戦争）」で日本人を餓死させようと、アメリカ軍は日本列島の周囲に大量の機雷を投下しました。内海の「瀬戸内海」にも機雷を撒き



回収された機雷
「海上自衛隊呉史料館(てつのくじら館)」
広島県呉市

まくったのです。

日本は島国です。周りを海で囲まれています。その海を封鎖すれば資源も、食糧も外部から搬入されることはなく、当時、「世界最強」だった日本海軍を閉じ込めることもできるからです。

日本に対し『海の兵糧攻め』のようなことをアメリカ軍はやったわけです。

◆日本列島は機雷だらけです。おかげさまで、《日本の「機雷除去」「掃海技術」は飛躍的に進歩します》。

◆日本に進駐していたアメリカ軍（GHQ）も日本海軍の「機雷除去」「掃海技術」を高く評価していました。そこで、吉田茂首相に強引に迫り《日本は朝鮮半島の『機雷除去』を担当させられた》と、いうわけです。

日本は「無条件降伏」をして、軍隊は**ありません**。

しかし、「天皇陛下」を人質に取られている日本は『NOといえるはずがありません』。

日本の支配者GHQの言うことを聞かないわけにはいかないのです。



2017年から就役した最新鋭のあわじ型掃海艦

当時の吉田茂首相はよほど困ったに違いありません。

アメリカ海軍主催の国際掃海訓練

◆ホルムズ海峡がイランによって「機雷封鎖」という話をよく聞きます。

海上自衛隊はペルシャ湾での多国間共同訓練に2011年以降継続して参加しています。

【米海軍のウェブサイトでは「特定の国」を対象とはしない、「過激派テロ」から《通商航路を守る》ための多国間訓練】だそうだが、2012年9月に「**米海軍が主催する最大規模の国際掃海訓練**」が中東地域で行われ、「海上自衛隊掃海部隊の掃海母艦『うらが』、掃海艦『はちじょう』を含む30カ国以上の海軍が参加しました」。

「この訓練は、《通商と通航の自由》を維持するため国際社会とともに協力し活動することを使命にしていました。国際的な**通商路の要衝（チョークポイント）**」



岸壁に整然と「密集結」する海上自衛隊掃海部隊

の一つであるホルムズ海峡を念頭に置いた訓練であったことは明らかです。核開発をめぐるイラン情勢が緊迫する中で行われた訓練を通じ、国際社会がイランを牽制し、海峡封鎖を抑止したと考えるのが自然だと思います

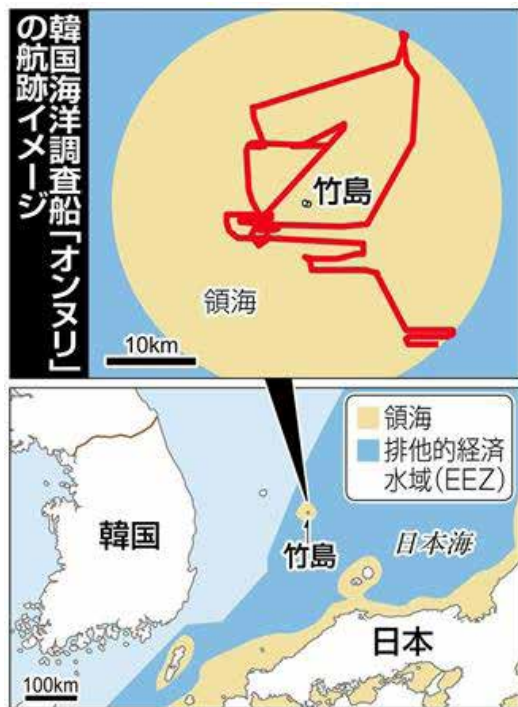
韓国が日本の島根県「竹島領海」で海底資源調査。

韓国は本当に日本をリスペクトしない国です。

「当てこすりの天才かもしれませんね」

現在も韓国が不法占拠を続ける竹島（島根県隠岐の島町）。

日本の領海内で、韓国の海洋調査船が海洋調査を実施しているようです。



「国連海洋法条約」は沿岸国の主権が領海に及ぶと規定しています。

つまり、韓国による竹島の「海洋調査」は許されません。

日本政府は調査船の航跡が他国の領海内を通常航行する場合と異なっていることに注目し、「海洋調査」をしていることを把握します。

外務省は調査実施が確認できれば抗議すると、しています。

「外務大臣以下総辞任しなさい」 (ワイス)

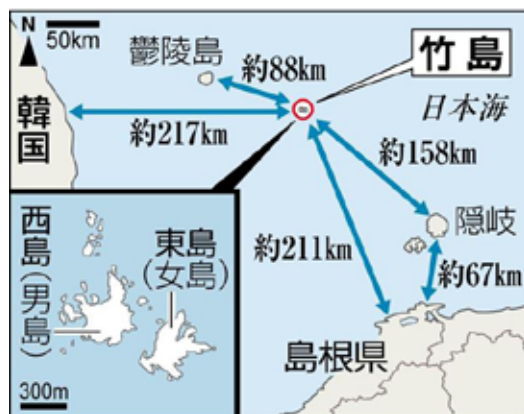
韓国はいまや、親北政権です。

「青瓦台」の主だったところはすでに「北朝鮮が抑えた」と、いられています。

今後「北と南」が統一されてしまえば対話は全然通用しないことでしょう。

日本もいつまでもノホホンとしていると（拉致被害者には本当に申し訳ないが）竹島は絶対戻らない。

大学の授業じゃあるまいに「講義」



に「行かん」不良学生にはこまったもの。外務省も「抗議」に「遺憾」だけじゃなくまじめに努力すべきです。

李承晩ラインができたのが1952年(昭和27年)1月18日。

2018年の今年で66年も過ぎています

外務省は今まで何していたの？

日本は韓国の属国なの？

「抗議」に「遺憾」のが66年間も続けば間違いなく「退学！」処分です。

日本領土「竹島」の海底資源を アメリカ・中国に売り払え！

(君は本物のドロボーか。)

海上保安庁は現場海域に巡視船を派遣した。無線などで注意を呼び掛け、海洋調査実施が確認されれば中止を要求する、という。

◆海洋調査の専門家は、調査機器を投入しての「調査実施」を指摘。

「漁業資源量のモニタリングのためにプランクトンの量や分布を計測している」のだろうとの見方を示した(間抜けな見方だねえ)。



韓国警備艦(左)と韓国海洋調査船(右)

◆韓国は12年前にも竹島周辺の日本の排他的経済水域(EEZ)や領海内で調査を強行。

海上保安庁は2017年までの5年間で周辺EEZ内での無許可調査を4件確認した。

今回は水産資源につながる調査を実施した可能性がある!?

しかし、2018年3月に出版された海保大研究報告には「韓国全体の水揚げの中で竹島周辺漁場が占める割合は生産量、生産額ともに1%以下」とする論文が発表されています。

だから、韓国側の調査が「水産資源の経済的な価値」であるはずがない。

「海洋実態の把握」を領有権主張の材料にすることだ、というが『竹島』自体に加えて「周辺海域の実効支配も強める狙い」がある、とみるのが妥当。

日本の領土竹島の「海洋調査」とは何のことだろうか?海底調査のことではないのか?



韓国の海洋科学調査船「異斯夫(イ・サブ)」号異斯夫は新羅時代の武將で、512年に鬱陵島と独島(日本名:竹島)を含む于山国を新羅の領土に編入した、と伝えられている。

これは簡単な話です。

竹島の海底にはメタンハイドレートが膨大に眠っています。

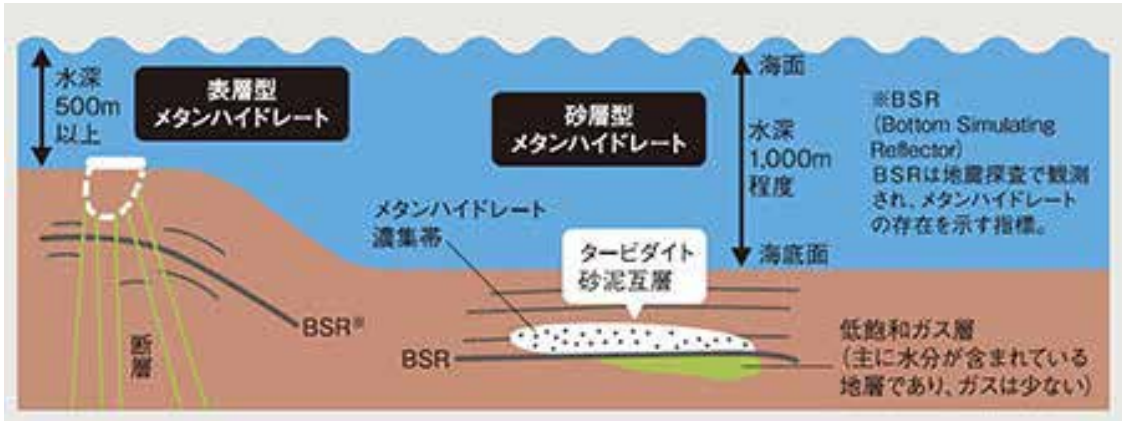
韓国は国際的な学会を覗いていて竹島のメタンハイドレートが実用化できそうだ、と思い慌てて海洋調査をかけてきたのです。12年前にも無理やり海洋調査

をしており、そこでわかるのですが、韓国の海洋調査の動機は原油価格を見ながら行われている。それで、しばらく韓国は原油が値下がりしていたので鳴りをひそめていたが、最近、また原油が高くなりそうなので2006年ころの海洋調査の裏付けをとっているのだろう。

現在、韓国は軍を背景にマシンガンで武装した警察守備隊を日本の領土「竹島」



「メタンハイドレート」の2つの賦存形態（経済産業省「海洋エネルギー・鉱物資源開発計画」2013年より）



の上にヘリポート、宿舎を造り不法占拠を続けている。これを放置しておいた外務省の責任は大きい。このまま放置を続けていると「竹島」は実効支配の名のもと、正式に韓国の領土となってしまう。これを阻止するにはロシアのプーチン大統領

領がクリミアでやったように戦争でもおっぱじめるより方法はない。

尖閣諸島の海底にもアラビア半島に匹敵する原油・ガス田が埋蔵されていると国連調査発表があった。それからは凶暴で強欲な中国が自分の領土だといひだしたわけで、南シナ海の岩礁に軍事基地を作って抑えているのも石油・天然ガスが狙いである。



「メタンハイドレート」からガスを継続的に取り出す試掘に成功し、喜ぶ中国の関係者（2017年5月、中国広東省沖の南シナ海）



竹島(独島)で武装して任務につく韓国の警備隊員（2006年5月）



竹島を警護している隊員らと記念写真を撮る 文在寅 現韓国大統領(2016年7月)

